

あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌 2017年新春号(年4回発行)

本年もよろしく
お願いいたします。



新年のご挨拶

理事長 小市 勝之

皆様には新年のお慶びを申し上げます。

昨年は多くの患者さんに浅ノ川総合病院をご利用していただきました。ありがとうございます。患者さん並びに患者さんをご紹介いただきました開業医の先生方や救急隊の方々の信頼に、今年もしっかり応えていきたいと存じます。また、介護・療養施設や協力施設のご協力のおかげで、患者さんに切れ目ない医療と安心を提供できますことに感謝申し上げます。

さて皆さんは年末年始どのように過ごされたでしょうか。家族全員揃っての団らんや同窓会などで旧交を温めるなど、それぞれのご家庭で貴重な時間を過ごされたことと思います。

詩人の相田みつを氏は、正月を迎えるということは自分本来の原点に立ち返ることだといっています。当法人につきましては、その原点といえば、設立当初より地域医療に貢献することでした。そのため三大疾病である、がん、脳卒中、心筋梗塞、さらには糖尿病、精神疾患、救急医療にも力を入れてきました。

そして当法人のフラッグシップである浅ノ川総合病院は、急性期医療を中心に検診などの予防医学、回復期リハビリ、そして透析医療や人工呼吸器病棟を有する慢性期医療まで切れ目なく医療を提供できるようになりました。患者さんの病状に合わせて、最適な医療を、責任を持って最後まで行うことができるようになっています。

少子高齢化に伴う人口減少や経済の低迷などにより、これからは、経済だけでなく医療や生活を取り巻く環境すべてが厳しくなっていくと考えられます。将来への不安を感じている方も多いと思います。どんな時代になろうとも、当院は患者さんのニーズに応える総合力で、患者さんにとって素晴らしい価値を発揮していかなければなりません。そして病気をみるだけでなく、患者さんにとって「安らぎと癒しの場所」をめざし、皆様のご意見ご指導を賜りながら、さらに成長していきたいと考えています。今年もどうか宜しくお願いいたします。



病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

病院の方針

1. 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
2. 患者の皆様にはやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
3. インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
4. 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
5. 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

Pick UP! 診療科トピックス 整形外科

皆さん、骨粗しょう症ってどんな病気かご存知でしょうか？骨粗しょう症とは「骨がスカスカになり、徐々にもろくなって骨が折れやすくなる病気」のことです。

骨が折れる、すなわち骨折には必ず痛みが伴います。そのため日常生活を送る上で支障をきたし、場合によっては寝たきりや認知症につながることもあります。

この骨粗しょう症による骨折で最もよくみられるのが（背骨がつぶれる）いわゆる圧迫骨折です。今回は、背骨の圧迫骨折の治療法について説明します。



日本整形外科学会専門医
日本脊椎脊髄病学会指導医

整形外科 徳海 裕史 医師

背骨の圧迫骨折の治療には大きく分けて2つの方法があります。

一つは以前から行われてきたコルセットによる治療法です。約2～3週間ベッド上で安静とし、痛みの軽減を待ちます。その後、歩行練習を行います。実際に痛みが改善し歩行できるには、個人差はありますが入院してから約4～6週間かかります。加えて問題点としてつぶれた背骨は元の形には戻りません（後弯変形）。さらにつぶれた状態になることもあります。そのため、骨が癒合しないことや、痛みが残る可能性があります。

もう一つの方法は手術（経皮的^{こうわん}後弯矯正術）です。背中に約1cmの切開を二つ加え、そこから骨折部にバール^{こうわん}を挿入し膨らまします（後弯矯正）。その後、セメントを挿入し矯正した状態で固定します。全身麻酔で行う手術ですが、体への負担は小さい手術です。良い点は手術翌日から痛みは軽減し、コルセットをして歩行が可能となります。安静の必要はありません。問題点としては手術を行った背骨の周囲の骨に負担がかかり、骨折を起こすことがあります。それを予防するために骨を強くするホルモン注射を行う必要があります。なお、この手術は脊椎外科の専門知識を持った医師が特定のトレーニングを修了し、必要な設備の整った施設で実施することが条件となっており、当院もその一つです。

ここに挙げた治療法は一人ひとり相談しながら決定して行きます。不明な点、さらに詳しい説明は気軽にお聞きいただければ対応いたします。



術前



術後



経皮的後弯矯正術

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市神谷内町の
『野口内科クリニック』をご紹介します。

平成9年に金沢市神谷内町で「野口内科クリニック」
を開設しました。

浅ノ川総合病院に近く、日頃より各診療科との連携を
密にしています。

当院は、正確で新しい医療情報の提供、院内と検査機
器の清潔、医療の安全性を念頭に、内科の急性期疾患か
ら生活習慣病などの慢性疾患に丁寧で充実した診療を
行なっています。

また、皆様の日常の健康相談や漢方を併用した治療など
の希望にも添う、身近なかかりつけ医を心がけています。

これからも、スタッフ共々研修を重ね、より信頼される
診療に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



クリニック外観

連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに
開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。



〔 院長 野口 隆俊 先生 〕

野口内科クリニック

院 長：野口 隆俊

診 療 科：内科(消化器内科、呼吸器内科、循環器内科)

認定資格：日本内科学会認定医、日本消化器学会専門医

日本超音波医学会専門医 指導医

日本東洋医学会 漢方専門医

日本医師会認定 産業医

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	/
14:00～18:00	○	○	○	/	○	/	/
13:00～15:00	/	/	/	/	/	○	/

休診日：木曜午後、日曜、祝日

※休日・時間外でも電話による対応をしております。

対応時間：9:00～23:00

(安全上、非通知通信には対応できません)

住 所：〒920-0801

石川県金沢市神谷内町ハ 37-7

電 話：076-253-8801

※休日・時間外の外出時は、携帯電話に転送されます。

駐 車 場：あり

アクセス：北鉄バス 神谷内バス停下車

北西に200m(三菱ふそう線路側)



病棟紹介：西館3階病棟(医療療養病棟)

“その人らしく生きる”をめざして

医療療養病棟は、急性期の治療を終えてからも引き続き医療の必要性が高く、病院での療養が必要な患者さんが療養生活を送っています。厚生労働大臣が定めた規定に従い、医療の必要度に応じた医療区分と日常生活の自立度の視点から考えられたADL区分により、入院基本料が算定されています。当院は療養病床入院基本料Ⅰの算定をしているので、医療を必要とする患者さんが常に80%以上いなければなりません。

当病棟には、中心静脈栄養、酸素療法、透析療法などの医療が必要な患者さんや、1日に頻回に吸痰が必要な患者さんなどが療養されています。看護師・介護福祉士の配置は20：1で17名の看護師と、14名の介護福祉士がいます。

私達スタッフは、患者さんとの会話や、患者さんにご家族から頂く「ありがとう」「世話になるね」などの言葉からいっぱい元気をもらっています。患者さんの中には意思の疎通が図れず、自分の思いを伝えられない方もいます。そうした患者さん、日々のケアや声掛けを続けていく中で、うなずいてくれたり、笑顔がみられたり、言葉を返してくれることがあります。そうした小さな変化に大きな喜びや、やりがいを感じて日々の看護・介護を行っています。

病棟の特色として、保清やスキンケアにも力を入れています。週2回の入浴介助や、毎日の口腔ケア、皮膚の保湿ケアを継続しています。当院の皮膚排泄ケア認定看護師からも「1番きれいなケアをしている病棟」と言ってもらいました。スタッフの日々の努力のお陰です。感謝、感謝です。

これからも、患者さん一人ひとりが「その人らしく」生き、療養生活を送れるように、患者さん、ご家族、そして私達の思いをキャッチボールできる病棟にしていきたいと思っています。

看護師長 菱 昌子





PET-CT「2回撮影法」で早期癌発見!!

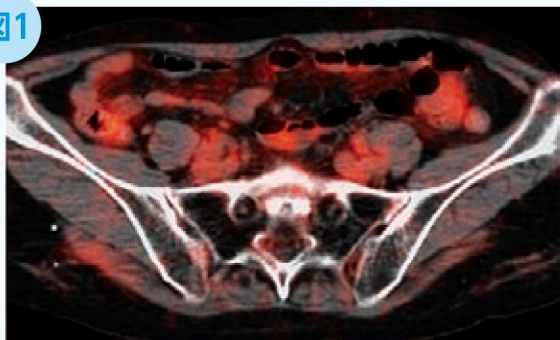
浅ノ川総合病院では2005年に県内でいち早くPET-CTを導入し、症例は12,000件を超え、有数の熟練した技術を誇ります。PET-CTは早期癌の検出が可能ですが、「2回撮影法」により早期癌の検出が飛躍的に向上します。浅ノ川総合病院では全てのPET-CT検査で「2回撮影法」を導入し、早期癌発見に寄与しています。

・・・ PET-CT検診で早期癌を発見 ・・・

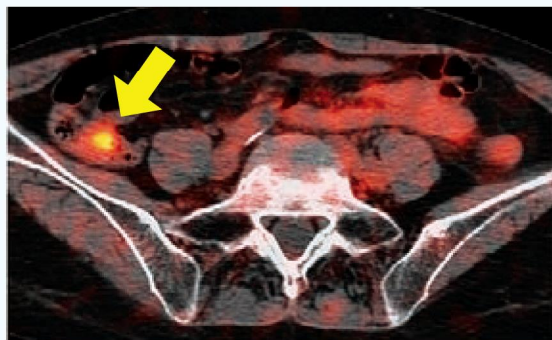
図1は浅ノ川総合病院でPET-CT検診を受けた女性の画像です。1回目の撮影では正常でしたが、2回目の撮影で初めて小さな大腸癌が見つかり内視鏡により摘出されました。

このように「2回撮影法」で小さな癌の検出率が飛躍的に向上します。

図1



1回目の撮影は正常



2回目の撮影で小さな大腸癌を発見!

・・・ 造影CTでわからない小さな肝転移を発見 ・・・

大腸癌の場合、小さな肝転移を早期に検出することは極めて重要です。一般的に造影CTで検索しますが、PET-CT「2回撮影法」は造影CTでも検出できないような小さな肝転移を見つけることが可能です。

図2は造影CTで見つからなかった小さな肝転移が、PET-CT「2回撮影法」で発見された症例です。

このように「2回撮影法」は大腸癌の小さな肝転移の検出に大変役立ちます。

図2



造影CTでは正常



PET-CT「2回撮影法」で小さな肝転移を発見!

PET-CTに関するお申込み/お問い合わせ

浅ノ川総合病院 PET-CT画像センター TEL 076-252-1438(直通)

※PET-CT検査はすべて予約制です。必ずお電話にてご予約ください。

お申し込み/お問い合わせ受付時間 (月曜～金曜) 午前8時30分～午後5時/土曜日は午後12時30分まで(第2土曜日休診)

「平成28年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」開催

当院では救急隊と病院の連携を強化し、救急医療の向上を図るため、救急症例検討会を定期的に開催しています。平成28年12月2日(金)当院で「平成28年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」が開催され、救急隊員、当院職員あわせて約100名が出席しました。

特別講演では当院 神経内科 江口周一郎医師から「めまいの急性期診療～特に中枢性めまいについて～」と題し、めまいの種類ごとの特徴や観察点などが話されました。症例検討では「右そけいヘルニア^{かんとう}嵌頓、急性汎発性^{はんぱつせい}腹膜炎、小腸穿孔^{せんこう きょう}」「橋出血」「肝性脳症」について活発な議論を行いました。最後に当院 整形外科 小峰伸彦医師より「頸髄損傷」の特徴や搬送時の注意点について講演が行われました。

アンケートでは「めまいを訴える方は多く、とても参考になった」「旅行者や外国の方の搬送も増えてきている。今後も搬送について協力していきたい」「全体を通してとても勉強になった」等のご意見を頂きました。

今後も当院は地域の救急隊と「顔の見える連携」を推進し、よりよい救急医療を地域に提供できるよう努めていきます。



大西 寛明 病院長



川村 哲朗 医師



「第4回石川県てんかん医療研究会 教育セミナー」開催

平成28年11月20日(日)ANAクラウンプラザホテル金沢にて「第4回石川県てんかん医療研究会教育セミナー」を開催しました。本セミナーは当院のてんかん・機能外科部長の川村哲朗医師が会長として、北陸のてんかん医療の充実と医師の育成を目的に開催しております。第4回となる今回は県内外から地域医療に携わる医師、コメディカル約100名が参加しました。セミナーでは「てんかん症候群におけるミオクロヌス」「前頭葉てんかん発作症候・徴候と脳波」「てんかんの病理」「心因性非てんかん性発作、PNES」「てんかん治療におけるpitfall」について講演がなされました。各講演後は活発に質疑応答が展開されました。今後も当院はてんかん医療の充実と臨床研修の推進に努めていきます。



※注

まごわやさしい 先取り 春レシピ

まだまだ寒い日は続いていますが、春はだんだん近づいてきています。今回は一足早く春のレシピをご紹介します。

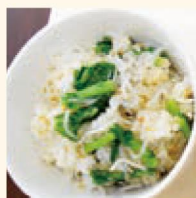
(材料はすべて4人分です。)

栄養量
(1人分)

エネルギー…497kcal たんぱく質…23.0g
脂質 ……8.0g 炭水化物…73.0g
食塩 ……3.4g



④ 菜の花としらすの混ぜご飯



材料

ご飯 …… 茶碗4杯分
菜の花 …… 一袋
しらす …… 40g
白ごま …… 適量

- 1 菜の花はさっとゆで、3cm幅に切る。
- 2 ボウルにご飯、ゆでた菜の花、しらす、白ごまを入れ混ぜる。

④ さわらの西京焼き



材料

さわら …… 4切れ
白みそ …… 大4
みりん …… 大4
酒 …… 大4
砂糖 …… 大1
大葉 …… 4枚(盛り付け用)

- 1 Aの材料を混ぜ合わせる。
- 2 さわらを、混ぜ合わせた①に0.5～1日漬ける。
- 3 グリルで表面から焼く。

④ 筍とわかめの煮物



材料

たけのこ水煮 …… 1パック(300g)
乾燥わかめ …… 6g
顆粒だし …… 小1/2
醤油 …… 大2
砂糖 …… 小2
みりん …… 大2
水 …… 2カップ(400ml)

- 1 Bを鍋に入れ、中火で加熱する。
- 2 筍はくし切りに、わかめはもどし、4cm幅に切る。
- 3 ①が沸騰したら筍を入れ、強火で5～6分ほど煮立たせる。
- 4 ③が煮立ったらわかめを入れ、さらに中火で2～3分煮立たせる。

④ とろとろ長芋の味噌汁



材料

長芋 …… 15cm程度
油あげ …… 1/2枚
えのき …… 1/2袋
みそ …… 大4
だし …… 4カップ(800ml)
きざみねぎ …… お好みで

- 1 油あげは熱湯をかけ、油抜きをして1cm幅に切る。えのきは3cm幅に切る。長芋は皮をむき、すりおろしておく。
- 2 だしが入った鍋に①の材料を入れ中火で2～3分煮る。
- 3 みそをとき入れ、すりおろした長芋を加えひと煮する。お好みでねぎをちらす。

※注

まごわやさしい とは？

健康な食生活に役立つ和の食材の文字を覚えやすく表したものです。現代の日本人はこういった食材をとることが少なくなってきました。健康な毎日を過ごすために、これらの食材を食事にとりいれましょう。

今回のレシピは「まごわやさしい」の食材をすべて使用しており、菜の花、筍、さわら、長芋は春が旬です。

ま(豆) ご(ごま) わ(わかめ) や(野菜) さ(魚) し(しいたけ) い(芋類)



発信元(栄養部：西)

皮膚・排泄ケア認定看護の資格をもつ 大津 千種看護師に聞きました！

Q1：「皮膚・排泄ケア認定看護師」について教えてください。

A：皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷・人工肛門と人工膀胱（以下ストーマ）・失禁のケアの相談・実践・指導を行います。いずれも、年齢・性別・疾患を問わず、全ての患者さんと家族や介護者が対象です。

創傷は、皮膚にまつわるトラブルに対するケアです。たとえば褥瘡ケアと予防、足潰瘍、胃や腎、膀胱などのろう孔ケア、医療機器による皮膚損傷、術後創傷、皮膚炎などです。ストーマは、装具の管理と選択、生活指導、位置決めなどを行います。失禁は、過活動膀胱や便秘、尿や便失禁に係る、生活習慣やオムツ選択など生活指導を行います。



Q2：どのような活動をしていますか？

A：褥瘡対策委員会に参加し、病院内の褥瘡ケア相談や委員会に託された褥瘡治療のケア方法を医師・薬剤師・理学療法士・病棟看護師・栄養士と議論し、ケア実践と指導を行い、褥瘡発生予防と早期治癒に努めています。

入院・外来のストーマケアを行なっています。外来では、主治医の依頼により、1ヵ月に10名程の患者さんの装具交換と生活上のトラブル解決に努め、療養生活の支援を行っています。

病棟の仕事をしながら、院内・院外の皮膚や排泄にまつわる疑問・トラブルについて相談・実践・指導を行っています。



Q3：やりがいや苦労話などがあれば教えてください。

A：創傷治療ケアが得意です。この傷がどのような状態にあり、何が治癒を阻害しているのかを検討している時に、私の脳細胞が活性化していると感じます。提案したケアを院内のスタッフが理解して実施し、治癒に至る過程を振り返ると、「この領域を選んで良かった」とやりがいを感じます。

編集 後記

2017年を迎えて間もないですが、既に月日が経ち、12分の1ヶ月が終わるという感覚は、時の流れの早さを感じます。広報誌の原稿などもそうですが、様々な『締切』に追われる日々を皆さんも一度は経験したことがあるのではないのでしょうか。『来年のことを言えば鬼が笑う』ということわざもありますが、予測ではなく計画されている未来のことを考えなければいけない場合も多く、これが時の流れを早く感じさせる要因の一つであると思います。

さて、今年の干支の酉年は鳥が、さら到来年は戌年で犬がなぞらえています。あ、また未来のことを言ってしまいました。今年は健康で病気にならないようにと願いながらも不摂生をしてしまうと、予測できる未来がおのずと現実になります。予防できることはやはり行うべきかと思います。猿も鳥も犬も桃太郎のお供で鬼ヶ島へ行きましたが、これも一つの対策でしょう。私、あさのちゃん是谁かの何かの力になれているのでしょうか。笑顔でみなさんの癒しになることと、健康のことを考えるきっかけになるキャラクターであれば、時の流れを止める魔法が使えなくても許していただけませんか？今年もよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101(代) メールアドレス: kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp